

予算編成方針と主な事業

土岐市を取り巻く環境は、物価高や頻発化・激甚化する気象災害などの外部要因に加え、人口減少などの数々の課題があります。このような状況の中、市民の皆さんのニーズに応えながら、こども・子育て政策の強化など、さまざまな行政課題に対応できるよう、本年度予算を編成しました。

令和7年2月には市制施行70周年を迎えます。健全な財政運営の姿勢を保ちつつ、第六次総合計画に掲げるまちの将来像「人と自然と土が織りなす 交流文化都市」の実現に向け、主要な施策を「愛着のもてる一まちづくり」、「地域を支える一ひとづくり」、「健やかでいきがいのもてる一暮らしづくり」の3つの柱で整理しました。

愛着と誇りをもてるまちを目指し、3つの柱に沿った施策をより積極的に展開していきます。

行政経営課 (内線532)

3つの柱からみえる 土岐市のまちづくり

01 愛着のもてる一まちづくり

安心して子育てができる環境づくり、土岐市の豊かな歴史や文化資源、地域産業の振興、地域防災力の充実強化、駅周辺の再生などを進め、愛着が持て住みつけたいと思うまちづくりを進めます。

例えば

- ・ 少子化対策・こども政策の推進
- ・ 認定こども園の整備
- ・ 「親子ひろば」ときめつく」
- ・ 出産・子育ての応援
- ・ 関係人口の創出拡大
- ・ 新しい博物館とその周辺の整備
- ・ 防災・減災対策の推進
- ・ 防災行政無線の整備

03 健やかでいきがいのもてる一暮らしづくり

健やかでいきがいのもてる暮らしづくりを実現します。そのための礎となる持続可能な行政サービスを推進します。

例えば

- ・ 健康・長寿社会の実現
- ・ ときげんきプロジェクト
- ・ 新病院の整備
- ・ 公共施設・インフラの整備
- ・ 新しい道路「陶元浅野線」の整備

02 地域を支える一ひとづくり

教育環境の向上や読書推進により次世代を担う人、ふるさとを大切にすることを育てることで、地域を支えるひとづくりを進めます。

例えば

- ・ 質の高い教育の提供
- ・ 読書に親しむまち土岐市 読書推進事業
- ・ ふるさとへの愛着の醸成
- ・ 市制70周年記念事業

少子化対策・こども政策の推進

認定こども園整備事業 (6,203万円)

就学前の子どもが、保護者の就労などの状況にかかわらず希望する施設を利用できる環境を整備し、安心安全な保育・教育環境を確保します。



重点

イオンモール土岐子育てイベント (1,955万円)

イオンモール土岐で大規模な子育てイベントを開催し、子育て世代の交流の場を提供します。

多機能型子育て支援拠点事業 (2,205万円)

「地域子育て支援拠点事業」「利用者支援事業」「ファミリー・サポートセンター事業」をイオンモール土岐内の「ときめつく」で一体的に行い、誰もが安心して子育てできる地域社会を創ります。



病児・病後児保育事業 (1,522万円)

病気や病後回復期で集団保育ができない児童を、一時的に保護者に代わり預かる体制を整備します。

出産・子育て応援事業 (3,175万円)

妊娠期から出産、子育てまで親子に寄り添った切れ目のない相談支援とあわせて、経済的支援を図るため、出産応援ギフト、子育て応援ギフトを交付します。

関係人口の創出拡大

文化財保存活用拠点(仮称)及び周辺整備事業 (2億7,134万円)

歴史文化、学習、交流の拠点として整備する文化財保存活用拠点(仮称)施設建設のための実施設計や建設場所周辺の整備基本計画を策定します。



重点

地域産業の振興

美濃焼「ツナグ」データバンク事業 (40万円)

陶磁器業界を継続させる仕組みをつくるため、事業者(技術)をリスト化し、情報共有できる仕組みづくりを行い、美濃焼業界が円滑なものづくりを進められるよう支援します。



防災・減災対策の推進

防災行政無線同報系設備整備事業
(11億443万円)

大規模災害に備え、防災行政無線機器の機能向上を図るため、機器の更新を行います。



東濃5市消防指令センター整備事業
(8,929万円)

令和8年4月運用開始に向けて、東濃5市共同による消防通信指令センターを整備し、消防力の強化を図ります。

質の高い教育の提供

読書に親しむまち土岐市 読書推進事業
(5,005万円)

読書に親しむ環境を提供し、読書を通じたまちづくり、ひとづくりを進めます。

新規事業として、利用者の状況や目的に合わせた移動図書館を展開します。



重点

教育支援事業
(6,763万円)

悩みや困り感を抱える子どもたちを支援するため、教育相談員や校内教育支援センター相談員、外国人児童生徒コーディネーターを配置します。また、スクールソーシャルワーカーを設置するなど、教育支援センターの設置に向けた体制整備を推進します。

きめ細かな学校支援事業
(6,721万円)

学校支援員、スクール・サポート・スタッフ、ICT支援員、小学校教科専門教師を配置し、児童生徒の学校生活を支援します。また、医療的ケアが必要な児童生徒のための看護師を配置します。

部活動地域移行事業
(579万円)

子どもたちが将来にわたりスポーツや文化活動に親しむことができる環境づくりを推進します。

ふるさとへの愛着の醸成

市制70周年記念事業
(1,041万円)

市制70周年の節目にあたり、「つなぐ」をテーマに市制施行70周年を記念する事業を実施します。

公共施設・インフラの整備等

陶元浅野線整備事業
(8億8,100万円)

国道19号線に加え、南北の幹線道路、新病院への一次アクセス道路として市民生活・経済活動の基盤となる道路を整備します。



重点

デジタルトランスフォーメーションの推進

証明書のコンビニ交付サービス、オンライン申請サービス(1,065万円)

各種証明書を市役所窓口に行かなくても取得できるサービスを提供し、市民の利便性の向上を図ります。

学校施設開放システムスマートロック導入事業(296万円)

学校体育館の利用手続きをICT化し、鍵の受け渡しの負担を解消します。

伝統文化公演事業
(455万円)

市内に根付いた伝統芸能の魅力を発信することで、次世代への継承と発展を図ります。



健康・長寿社会の実現

全世代健康寿命延伸事業ときげんきプロジェクト(1億5,913万円)

すべての世代が健やかな生活習慣を形成し、いつまでも健康で生きがいを持って暮らせるまちを目指し、運動習慣づくりやフレイル予防などの事業を展開します。



重点

地域医療体制の確保
(14億7,261万円)

誰もが必要ときに安心して質の高い医療サービスを受けられるよう瑞浪市、JA岐阜厚生連とともに新病院の整備を進めます。



重点

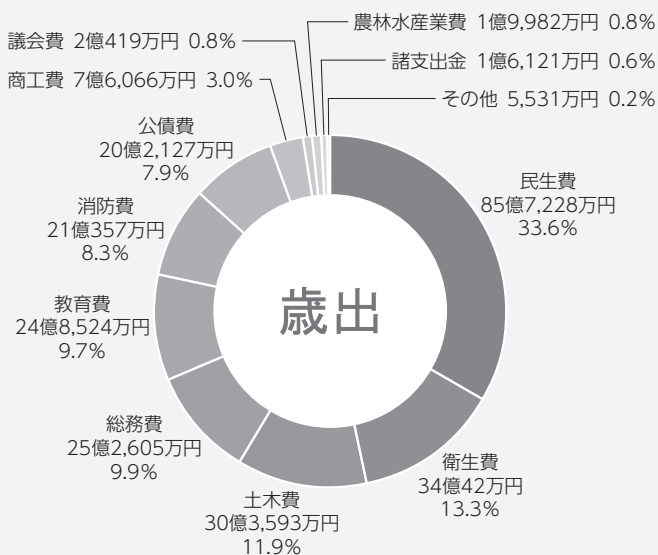
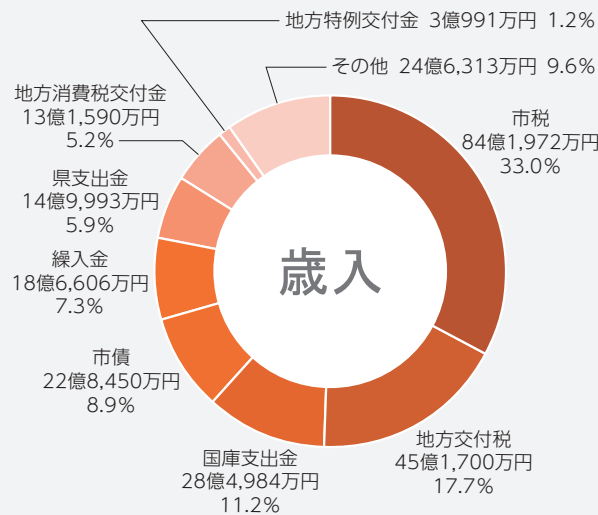
地域公共交通の充実

AIデマンド型交通実証実験
(2,402万円)

従来の路線バスとは異なり、決まった時刻表や運行ルートがなく、予約状況に応じてAIが最適な運行ルートを決定しながら運行する乗合輸送サービスの実証実験を行います。

令和6年度 予算

一般会計 255億2,600万円



会計名	予算額	前年度比
一般会計	255億2,600万円	0.5%
特別会計	126億0,653万円	△3.6%
企業会計		
病院事業	19億2,620万円	24.8%
水道事業	26億8,928万円	△14.4%
下水道事業	31億1,716万円	1.3%
計	77億3,264万円	△0.4%
合計	458億6,518万円	△0.8%

※表示単位未満を切り捨てしているため、積み上げと合計が一致しない場合があります。